

森の川自然散歩

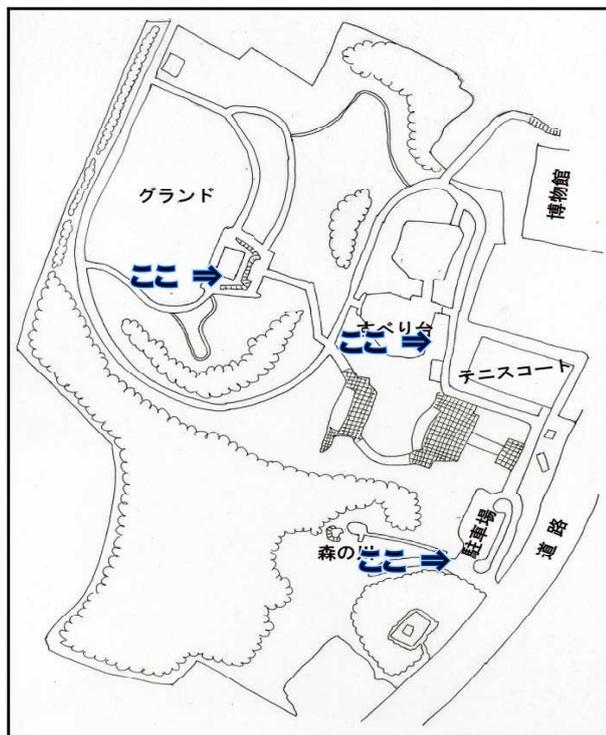
2018年11月号



上左：ベランダの兵にとまるイソヒヨドリのオス。 上右：同じベランダにやって来たイソヒヨドリのメス。お腹のまだら模様が目立ちます。

イソヒヨドリ (メモ) ▶▶▶

- 全長は約23cmで、ヒヨドリくらいの大きさです。年中見ることはできますが、涼しくなってくると、特に声がよく聞こえてくる気がします。
- 森川公園では、下の駐車場の周辺や上の広場の展望台やトイレの周辺でよく見ます。
- オスは全体的に青灰色で、胸は赤褐色をしています。一方メスは、全体的に褐色で胸からお腹にかけて、まだら状の白い斑点があります。
- もともとは海岸近くの崖や岩などにすんでいて、岩の割れ目や隙間に巣をつくっていましたが、最近は鉄筋コンクリート製の建物も好きになってきたようです。



森川公園で見つける不思議

緑の公園には、不思議がいっぱい見つかります。



(20) 君はなんのために？ ～ テックス板 ～

公園内を散歩していて、あちこちの木の枝に、写真のような小さな板がぶら下げられているのを見つけたことはありませんか？。大きさは5cm×5cmで、駐車場周辺のサクラの木の枝によくぶら下がっています。これはテックス板といって、公園の樹木などの害虫をおびき寄せる物質と、殺虫剤とをしみこませた板です。一昔前までは、ウリミバエやミカンコミバエなどのミバエ類をおびき寄せていましたが、現在はどんな害虫を引き寄せているのでしょうか。

あっそうそう、この板にしみ込ませている殺虫剤は結構強力なので、あまり触らない方がいいですよ。

左:市口近くの遊歩道にあるサクラの枝に下げられたテックス板。

森川公園11月の花ごよみ

～ ナガミボチョウジ ～

- 森川公園の石灰岩の場所、上の広場下の遊歩道沿い、森の川の後ろの森などに生えています。今頃は黄色や緑色の実がよく目につきます。
- トカラ列島から先島諸島の島々に普通に生えています。常緑の低木で、高さは1～2m、てかてかした葉は長さが10～22cm、幅は5～10cmになります。
- 初夏から夏に、直径3～5mmの白い花を咲かせます。実はだ円形で、長さは8～13mmです。
- やんばるの非石灰岩の山地には、よく似たボチョウジが生えています。石灰岩地と非石灰岩地の境界地では、ボチョウジと混成することもあります。

右:上の広場の岩場下で実をつけたナガミボチョウジ。



博物館で森川公園の見取り図をもらって、
自分が見つけた動物や植物をメモしていこう！

疑問や質問があったら、博物館の職員にいろいろ聞いてみてね。
宜野湾市立博物館 〒901-2224 宜野湾市真志喜 1-25-1
Tel:098-870-9317 Fax:098-870-9316

